

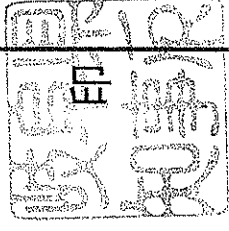
(別添)

教 財 第 3 3 8 号

平 成 2 4 年 7 月 2 5 日

文部科学大臣 殿

岐阜県知事 古田 肇



施設整備計画の事後評価について

安全・安心な学校づくり交付金交付要綱第8の1に基づき、施設整備計画における事後評価の結果を報告します。

施設整備計画 事後評価シート(総括票)

※この総括票については、計画年度終了時点における施設整備計画(計画を変更しているものについては、最終変更後の計画)に基づいた事後評価の結果を記入すること。
また、その評価を行った施設整備計画を添付すること。

公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する目標の達成状況について

①地震、津波等の災害に備えるための整備

【達成状況】

○	計画どおり実施できた。
□	計画したが、一部実施できなかった。
△	計画したが、すべて実施できなかった。

(耐震化率の目標に対する達成状況)

学校区分	耐震化率(%)	
	目標	達成状況
小学校	—	—
中学校	—	—
高等学校	100.0	100.0
特別支援学校	100.0	100.0
幼稚園	—	—

【所見】

県立学校の校舎、屋内運動場、武道場及び寄宿舎の耐震化については、県の耐震補強計画に基づき、対象となる建物については、平成23年度で完了した。
今後は、上記計画に計上されなかった同窓会館等、比較的小規模な建物について耐震診断を実施し、必要に応じて補強計画、実施設計及び耐震補強工事を実施する予定である。

②防犯対策など安全性の確保を図る整備

【達成状況】

—	計画どおり実施できた。
□	計画したが、一部実施できなかった。
△	計画したが、すべて実施できなかった。

【 所見 】

--

③教育環境の質的な向上を図る整備

【 達成状況 】

一	計画どおり実施できた。
一	計画したが、一部実施できなかった。
一	計画したが、すべて実施できなかった。

【 所見 】

--

④施設の特性に配慮した教育環境の充実を図る整備

【 達成状況 】

○	計画どおり実施できた。
	計画したが、一部実施できなかった。
	計画したが、すべて実施できなかった。

【所見】

＜特別装置の整備＞

・平成22年度については、計6校へ特別装置(生徒が実験実習に利用する設備)を整備した。いずれの装置も、学校の要望を踏まえた上で、最新技術に対応した実習を可能とする機器群で構成するなど、教育環境の大幅な改善を図ることができた。

※ 岐阜商業高(マーケティング実習装置)、岐南工業高(電子計算装置)、岐阜高(家庭情報処理装置)、大垣商業高(情報実務実習装置)、中津川工業高(電子計算組織)、飛騨高山高(総合実践実習装置)

・全ての整備対象校について、当初の計画どおり事業を実施し、所定の期限内に整備を完了することができた。

＜特別支援学校の整備＞

・可茂特別支援学校の整備においては、周辺校の狭小化及び当該地域の児童生徒の遠距離通学が課題となっていたため、当該地区への特別支援学校の新築整備を計画し、平成21年度に着工、平成22年度に着工、平成23年度に校舎及び管理棟が完成し、平成23年4月に開校した。また、平成23年度(平成22年度繰越事業)には体育館及び屋内・屋外プールを整備し、教育環境の充実を図った。

2 事後評価の時期及び方法について

・各整備事業について、緊急性や優先度を勘案した計画を所管課にて作成し、計画的に整備を進める。年度末や各事業の完了時に、その実績により達成度を評価し、ホームページにて公表する。

・特別支援学校の整備については、大教員(障がい児心理)、福祉団体代表者、医療関係者、保護者代表者等で構成する「子どもかがきプラン推進委員会」を平成22年度に4回、平成23年度に4回開催し、施設整備の事業報告及びそれに対する意見・評価を受けている。また同委員会では、これまでの事業実績を踏まえた今後の特別支援学校の整備に関する意見も聴取している。

3 事後評価の総合所見及び今後の施設整備計画への反映等について

＜総合所見＞

・平成22年度の学校施設や特別装置の整備については、対象となった全学校において、計画どおりに事業を実施でき、学習環境の改善等を図ることができた。

＜今後の施設整備計画への反映等について＞

・比較的小規模な学校施設についても耐震診断を実施し、その結果に基づき、補強計画、実施設計及び耐震補強工事を実施していく必要がある。

＜特別支援学校の整備＞

・施設整備計画で計画した事業について、未整備地域への整備が図られ、地域の特別支援教育に対する学習環境の改善が図られるとともに、周辺の特別支援学校の狭小化が一部改善された。しかし、新設校では、開校後の児童生徒数が想定していた人数を上回る傾向にあり、整備した教室数が不足する状況も発生している。そのため、今後の児童生徒数の状況を見極めながら対応を検討していく必要がある。

・特別支援学校の児童生徒については、依然として増加しており、一部の学校では狭小化が解消されていないこと、特別支援学校の未整備地域では遠距離通学が余儀なくされている児童生徒がいることから、当該年度以降においても計画に基づき学校整備を行っていく必要がある。

施設整備計画 事後評価シート(個別票)

1 計画名称 岐阜県公立学校等施設整備計画

2 計画作成主体 岐阜県

3 計画期間 平成22年度

4 個別事業一覧

都道府県名	岐阜県
市町村名	—

※この個別票については、計画の変更に伴い取り下げた事業も含めて、施設整備計画に計上したことのある全ての事業を計上すること。

学校名	整備区分	事業番号	事業名	建物区分	構造区分	事業実施の有無	(事業を実施した場合) 竣工年月日	(事業を実施しなかった場合) 実施できなかった理由及び今後の方針	施設整備計画の変更		備考
									事由	変更年月日	
岐阜商業高等学校	④	1106	特別装置	—	—	○	平成23年3月14日				
岐南工業高等学校	④	1106	特別装置	—	—	○	平成23年3月15日				
揖斐高等学校	④	1106	特別装置	—	—	○	平成23年2月25日				
大垣商業高等学校	④	1106	特別装置	—	—	○	平成23年3月9日				
中津川工業高等学校	④	1106	特別装置	—	—	○	平成23年3月15日				
飛騨高山高等学校	④	1106	特別装置	—	—	○	平成23年3月14日				
可茂特別支援学校 (Ⅱ期工事)	④	0109	特支(幼・高)	校	R	○	平成24年3月8日				
可茂特別支援学校 (Ⅱ期工事)	④	0109	特支(幼・高)	屋	S	○	平成24年3月8日				平成22年12月22日付けの施設整備計画の変更に伴い、当該事業を追加した。
可茂特別支援学校 (Ⅱ期工事)	④	1301	学校水泳プール(屋外)	—	—	○	平成24年3月8日				平成23年2月17日付けの施設整備計画の変更に伴い、当該事業を追加した。
可茂特別支援学校 (Ⅱ期工事)	④	1303	学校水泳プール(屋内)	—	—	○	平成24年3月8日				平成23年2月17日付けの施設整備計画の変更に伴い、当該事業を追加した。